

令和7年度 がん検診のご案内

無料(または**低額**)**で受けられるのは**
今回が最後かもしれません。

日本人の**2人に1人**が
がんになっています。



出典：国立がんセンター がん情報サービス 最新がん統計

初期のがんのほとんどは
自覚症状が
ありません

自費で受ける場合
1万円程度
かかる検診です

申込み・問合せ

すみだ けんしんダイヤル 電話：03-5608-1599

受付時間：月曜日～金曜日の午前9時～午後6時（祝日・年末年始を除く）

※聴覚障害のある方等はFAX 03-6862-6571へ

インターネットからの
申込みがオススメ!



コード



がん検診のメリット・デメリット

がん検診の目的は、がんを早期に発見し、適切な治療を行うことで、**がんによる死亡リスクを減少させる**ことです。また、すべてのがん検診には、**メリット**と**デメリット**があり、がん検診の検査方法についても、がん患者の診療としては有用ですが、検診で使用した場合の効果が十分に確かめられていないものもあります。がん検診のメリットとデメリットを正しく理解し、正しい知識を持ってがん検診を受診しましょう。

がん検診の **メ****リ****ツ****ト**

①早期発見・早期治療により命を守ることができます。

がん検診の最大のメリットは、検診によりがんを早期に見つけることで命を守ることです。そのためには、命を守る効果が確かめられた種類のがん検診を受けることが大切です。

②がんの治療が容易です。

がん検診は、「症状がない健康な人」が対象のため、がんが早期の段階で見つかりやすく、そのほとんどが治ります。しかも、身体への負担が少ない治療ですみます。

③「異常なし」が確かめられ、安心感が得られます。

がん検診を受けて「異常なし」の判定となった場合、「自分はがんがない」という安心感を得ることができます。

がん検診の **デ****メ****リ****ツ****ト**

①がん検診ではがんが100%見つかるわけではありません。

どんなに優れた検査でも「絶対」はあり得ません。やむを得ずがんを見逃してしまうことがあります（偽陰性）。

②結果的に不要な治療や検査を招くことがあります。

がんでないのに「がんの疑い」と判定されてしまったり（偽陽性）、健康や生命に影響しない微小ながんを見つけてしまうこと（過剰診断）により、余分な精密検査を受けることなどによる身体的・心理的な負担がかかってしまったりすることがあります。

③偶発症のリスクがあります。

内視鏡検査などにおいて、胃に穴が開くなどの事故がごくまれに発生します。

***** 早期にがんを見つけるために **がん検診を継続して受けてください** *****

がんはほとんどの場合、早期のうちは自覚症状がありません。

そのため、定期的ながん検診を受け、早期発見・早期治療につなげることが大切です。

もしも **要 精 密 検 査** といわれたら…

『要精密検査（要精検）＝がん』ではありません。

がん検診は、がんの“疑い”があるかないかを調べる検査であるため、確定診断には不十分です。「がん」であるかどうかを判定するためにも、必ず精密検査を受けましょう。「元気だから」、「症状がないから」といった理由で精密検査を受けないと、早期に見つかるはずのがんを放置してしまうことになり、せっかくがん検診を受けた意味がなくなってしまいます。精密検査を受けることで、がんの早期発見・早期治療につながり、大切な命を守ることができるのです。